

令和元年12月12日

令和元年度
日本リハビリテーション専門学校
第1回学校関係者評価委員会議事録

1 日時

令和元年12月11日（水）16:00～17:00

2 場所

日本リハビリテーション専門学校第2校舎3階

3 メンバー

委員：高田、三沢、近藤、六鹿、山下、綿貫

事務局：二瓶、工藤、近野、深瀬、篠田、鈴木

4 会議内容

以下議題に添って進行

【議題】学校関係者評価委員会

- I. 令和元年度新入生アンケートについて
- II. 平成30年度卒業生アンケートについて
- III. 国家試験対策委員会より
 - ① 昨年度の報告
 - ② 問題点
 - ③ 今年度の取組み
 - ④ 国家試験結果について

事務局 工藤

学校関係評価委員会を開始、資料に添って説明。

<意見交換>

事務局工藤

新入生アンケートの結果を見て思ったこととお話し下さい。

山下委員

日リハのホームページは素晴らしいなと思っています。スマホで「作業療法士 東京 学校」で検索しても一番初めに出てきます。実習時間が多いことが理由となっているのは、やる気のある人が入学してくれているのかと思う。

綿貫委員

自分が学生の時よりも夜間部の年齢層が若くなっている印象がある。それが学校の活気であったり、実習や国試に対するモチベーションに繋がっていたら良いなと思いました。

- 近藤委員 今の学生は家族と同居が多いようなので、保護者との連携という意味では取り組みやすい状況なのではと思いました。ホームページについては非常に良い印象を持っています。
- 六鹿委員 入学前に学校説明会に参加した人が非常に多い印象ですが、毎年どれくらいの人数が参加されているのでしょうか。
- 事務局深瀬 昨年度は新規来校で 547 名です。その中で出願に至っているのは 210 名程度です。絶対数は減少傾向にはありますが、そこから入学する人の割合は悪くないと感じています。学校説明会での学生スタッフの意義がとても高いと思っています。
- 事務局工藤 アンケート結果を見ると、以前から「在学生からお話を聞けてとても参考になった」というものが多い。また、「学校の雰囲気が良い」というものも必ず上位に来ます。
- 事務局深瀬 在校生と教員との関係性を見て出願を決めて入学する方がとても多いです。
- 事務局工藤 卒業生アンケートの結果を見て思ったことをお話し下さい。
- 高田委員 事務も教員も良くやられているなという印象です。整形外科にあまり興味がないというのはどういった理由でしょうか。
- 事務局近野 関心がないというよりはあまりわからないという意味だと思います。
- 近藤委員 「十分に勉強したとは言えない」という回答が多いように思うが、先生方の認識としてはいかがですか。
- 事務局篠田 それについては非常に個人差があると思いますが、一昔前に比較すると今の国家試験対策の勉強はとても大変なので、それらを考慮するとよく頑張っているのではという部分はあります。
- 事務局深瀬 十分な学習機会を与えたか、そしてその学習機会の中で学生たちがどれくらい勉強したのかをどのように評価するのかで非常に難しいのですが、「十分に勉強できなかった」と思うくらいで丁度良いのかもしれませんが。
- 六鹿委員 国家試験対策についてのアンケートを見ると、夜間部においてあまり良くない感想が多いようだが、どういったところだと感じていますか。

- 事務局深瀬 割と昼間部の成績不良者に対して焦点を当てていたという面はあったのかもしれませんが。また、夜間部の就労機会に対しての配慮という面での不満が出たというのものもあるかもしれません。あとは、グループ学習に対して教員がもっと関わってほしいという意見をもらったことがあります。そこに関しては今もう少し検証しているところです。
- 六鹿委員 昼間部と夜間部で国家試験対策の方針等を変えていくという議論もとても難しい部分ですが、もしかしたら必要なのかなと思います。
- 三沢委員 国家試験対策については先生方が本当にご苦労されている点かと思えます。カリキュラムについては新指定規則が指摘している分野の科目について学生の関心が薄いところが少し残念だと感じました。
- 山下委員 専門分野の精神障害治療学などの関心が高いところが少し意外と感じましたが、以前からなのでしょうか。
- 事務局近野 就職する学生は少ないですが、関心は昔から高い分野だと思います。
- 綿貫委員 全体的な印象でアンケート結果はとても良い印象です。先生方のご苦労の賜物であると感じました。卒業生としても大変嬉しく感じます。
- 事務局工藤 本日は貴重なご意見、誠にありがとうございました。